

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月 27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170501035		
法人名	社会福祉法人 南静会		
事業所名	グループホーム白石の郷		
所在地	札幌市白石区本郷通3丁目南1-16 (電話) 011-864-5861		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年6月28日	評価確定日	平成19年7月27日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年 10月 10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 15人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	2~3	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000~40,000 円	その他の経費(月額)	15,100~21,000 円
敷 金	(有) 34,000~40,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(無) 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400 円		

### (4) 利用者の概要(平成19年4月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	3	要介護2	6		
要介護3	6	要介護4	2		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 81 歳	最低	63 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	よつばクリニック・札幌歯科口腔外科クリニック・西円山病院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は平成12年に開設し、公園に隣接した静かな環境に位置し、事業所は全体的に落ち着いた雰囲気有している。また、共用空間には鉢植え・風鈴・利用者作の絵等が飾られ、季節感も考慮されている。ホーム長始め、全職員が利用者一人ひとりの意向や思いを大切にし、サービスの質の向上に取り組んでいる。利用者と職員が、散歩時に地域住民と共にゴミ拾いを行うなど地域との交流も図られている。今後、地域住民と支え合う関係がより一層構築される事が期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題を踏まえて全職員で協議し、洗剤・消毒剤等を格納し安全を図っている。また、パンフレットに理念を明示する事についても現在取り組みの最中である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	管理者は職員に評価の意義や目的を説明し、全職員で自己評価を行った。また、日々のケアサービスを振り返る機会としており、質の確保に努めている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	2ヶ月に1度、運営推進会議が開催されており、全利用者の家族が構成員として参加している。会議において様々な情報提供がなされ、活発な意見交換が行われている。また、家族からの意見・要望を聞き、事業所の運営に反映させ改善に向けて取り組んでいる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	重要事項説明書に、意見・相談・苦情等についての苦情相談窓口が明示されており、入居時に詳しく説明している。また、事業所内にも相談窓口や第三者委員の氏名・電話番号等が掲示されており、家族が外部に表現できる体制が整えられている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	当事業所は町内会に加入し、利用者と職員が地域住民とゴミ拾い活動を行っており、地域との連携が自然に図られている。また、事業所の行事に地域住民を招待したり、小学校の運動会・文化祭に見学に行くなど地域との交流が図られている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の運営理念がカードに記載されており、職員は常時所持している。また、重要事項説明書や事業所内の見やすい箇所に理念を掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念が記載されたカードを所持し、共有しながら日々のケアを実践している。また、年間の活動目標を定め、目標に向けてのサービスの実践に具体的に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者・職員は地域の一員として、地域住民と共に公園のゴミ拾い活動に参加している。また、近隣小学校の運動会・文化祭を見学するなど地域との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員に評価の意義・目的を説明し、全職員で項目ごとに自己評価を行っている。また、日々のケアサービスを振り返る機会としており、サービスの質の確保に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、全利用者の家族が参加している。会議において、様々な情報提供が行われ、家族の意見・要望を聞き、運営に反映させながら改善に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は各種会議に出席している。また、市の担当者とも密に連携を取りながら、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の健康状態や日常生活の様子を電話や来訪時に、家族に伝えている。また、金銭出納については、月に1度領収書を添付する形で家族に報告し、確認後の印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口については重要事項説明書に明示されており、入居時に家族に詳しく説明している。また、相談窓口や第三者委員の氏名・電話番号、苦情受付の流れを明示したものを事業所内の見やすい箇所に掲示している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動については最小限に抑え、利用者にはダメージ防止の配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者・管理者は人材育成の重要性を認識しており、年間研修計画表を作成している。職員一人ひとりの知識や経験の段階に応じた外部研修会に参加し、報告会を行い職員間の共有化を図っている。また、事業所内での研修会も行われており、職員は積極的に参加している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者・職員は会議や研修会に積極的に参加しており、同業者との交流を深めている。また、協力医療機関とも連携を取っており、共にサービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居時前に利用者宅を訪問し、本人・家族とも顔馴染みになってからの入居となるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と職員の関係が一方的な流れにならないよう、生活歴から得意分野を把握し、利用者から教えてもらう場面づくりに配慮している。また、日々の暮らしの中で、利用者と職員が共に喜び励ましあうなど支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや希望の把握に努めている。また、職員は情報の共有化を図り日々のケアに活かしている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は、一人ひとりの生活歴・個人記録シート・毎日のカンファレンス記録を基に、その人らしい暮らしとなるような介護計画作成に努めている。また、関係者・職員間の話し合いで出た意見やアイデアを反映した介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>一人ひとりの記録や資料を基に、3ヶ月に1度の見直しを行っている。また、利用者の状態変化が生じた場合は、そのつど見直しを行い臨機応変に対応している。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体施設と連携を取り、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者・家族の希望するかかりつけ医や協力医療機関への受診支援を行っている。また、協力医による往診・検査の支援も行っている。往診・受診の内容は、健康手帳に分かりやすく記載している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化した場合や終末期のあり方について、早期から利用者本人・家族・協力医療機関・管理者で何度も話し合い検討している。また、全職員で意見交換を行い方針の共有化を図っており、最大限の支援を行う体制が整えられている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者に対して、尊厳やプライバシーに配慮した声かけや対応を行っている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者の生活歴・ペースを大切に、その人らしい生活を送れるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力量や状況に応じて、献立表の作成・買い物・盛り付け・後片付けなどを職員と一緒にしている。また、外食・出前・屋外での食事等も楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせた入浴支援を行っており、羞恥心にも細心の配慮がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備・調理・掃除など一人ひとりの生活歴や得意な事を活かした役割の支援を行っている。また、歌集・週刊誌・ビデオ等も用意しており、利用者は興味のある物を選び楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣公園までの散歩やゴミ拾い活動・事業所の庭先で昼食やおやつを楽しむなど、戸外に出る機会を作っている。また、家族やボランティアに協力依頼をし、喫茶店・外食・プール等への外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけない安全な暮らしについて理解しており、日中は施錠していない。職員は外出傾向のある利用者を把握しており、外出する様子の中には、さりげなく声かけを行っている。また、併設施設や公的機関等にも協力依頼をしており、安全面に配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年に2回の避難訓練を実施している。また、緊急連絡網を作成したり、消防署への自動通報システムを設置するなど災害対策が整えられている。現在、非常用食料や防災頭巾等の備蓄についても検討中である。	○	災害対策について地域を含める協力も必要であるので、避難訓練等に地域住民が参加したり、運営推進会議の中での呼びかけも期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分・食事の摂取量を個別に記録し、残食量を計算して捕食を行う等の対応をしている。また、別献立・刻み食・おかゆなど利用者の身体状況に応じた支援を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には花の写真・ポスターが飾られたり、風鈴・扇子・うちわ等の装飾品が置かれるなど季節感を採り入れたスペースとなっている。また、テーブルには新聞や雑誌が置かれ、生活感にも配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者が使い慣れた馴染みの家具や写真・趣味の作品や道具・絵画などが持ち込まれており、安心して過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。